

## 特別支援学校学習指導要領の全面実施に向けて

今年度は、幼稚部（平成30年度から全面実施）を除くすべての学部が移行期間となりました。令和2年度から小学部，令和3年度から中学部，令和4年度から高等部（年次進行）と，順次全面実施となります。本県の各特別支援学校においても，教育課程の工夫・改善や新学習指導要領を踏まえた授業研究会など，新学習指導要領の全面実施に向けた準備が進められています。



幼稚部・小学部・中学部 平成29年4月告示  
高等部 平成31年2月告示

	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)
小	移行期間	令和2年度～全面実施		
中	移行期間	移行期間	令和3年度～全面実施	
高	移行期間	移行期間	移行期間	令和4年度～年次進行で実施



各解説（幼稚部・小学部・中学部）  
平成30年3月発行

## 福島県特別支援教育センター教育研究

### 「知的障がいのある児童生徒を教育する特別支援学校の各教科の指導の充実」（二年度）

本県では，平成30年度より特別支援学校教科指導充実事業として，知的障がいのある児童生徒を教育する特別支援学校の各教科の指導の充実に向けた事業及び教育研究を進めています。研究の二年度の今年度は，研究協力校7校との連携・協力をさらに深め，新学習指導要領を踏まえた実践研究の成果を発信していきます。

福島県特別支援教育センター 平成30年度・令和元年度教育研究（二年度）

「知的障がいのある児童生徒を教育する特別支援学校の各教科の指導の充実」

～新学習指導要領を踏まえた児童生徒の自立と社会参加に向けた資質・能力の向上を目指す実践研究～



連携・協力



#### ■新学習指導要領の理解啓発

・教育課程協議会，各研修会，Webサイト，実践研究通信

#### ■新学習指導要領を踏まえた授業研究

・学習指導案及び授業研究会の在り方の検討，教育課程や年間指導計画の工夫

#### ■新学習指導要領に基づく学習状況等の把握

・「学びの履歴」シートの活用と検証

研究協力校7校

推進モデル校：あぶくま支援学校，石川支援学校

地区協力校：大笹生支援学校，西郷支援学校，猪苗代支援学校，富岡支援学校，いわき支援学校

# 新学習指導要領を踏まえた授業研究

## ～学習指導案及び授業研究会の在り方の検討・実施～

新学習指導要領では、知的障がいのある児童生徒のための各教科等について、学びの連続性が重視され、育成を目指す資質・能力の三つの柱で目標と内容が整理されるなどの充実が図られました。また、資質・能力の育成のためには「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が必要であるとされています。これらを受け、特別支援学校の授業づくりは、具体的にどのような工夫や改善が必要になるのでしょうか。

本センターの教育研究では、研究協力校7校との連携・協力のもと、新学習指導要領を踏まえた学習指導案及び授業研究会の在り方の検討・実施を通して、工夫・改善のポイントを明らかにする研究に取り組んでいます。

### 研究協力校連絡協議会（全3回）

研究協力校の代表者が一堂に会し、教育研究に係る協議を進めています。具体的には、新学習指導要領の改訂のポイントや解説の内容を確認したり、本センターが提案した学習指導案を基に工夫点・改善点について協議したりしています。各校から教務部や研修部担当の先生方が参加し、学校でのカリキュラム・マネジメントの推進も視野に入れながら研究に取り組んでいます。

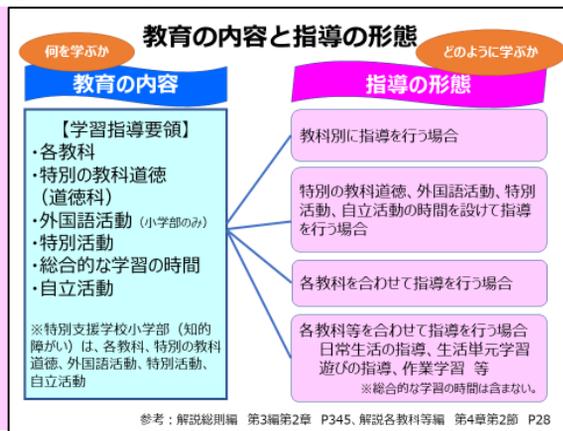


### 学習指導案及び授業研究会の工夫・改善

学習指導案及び授業研究会について、下記の検討事項について協議し、研究協力校の校内研究における実践的な取組を進めています。本センターでは、各校の実践の成果をまとめ、授業づくりの工夫・改善のポイントを県内の学校に発信していきます。

#### 検討① 資質・能力の育成に向けた単元（題材）の設定

- 学習指導要領に示す「教育の内容」と「指導の形態」の構造（右図）を踏まえた単元（題材）の設定
- 各教科の段階や内容の明確化
- 資質・能力の三つの柱に沿った単元（題材）の目標
- 単元（題材）全体を見通した本時の目標
- 学習状況等を踏まえた個別の目標 など



#### 検討② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫

- 内容や時間のまとまりを見通した単元（題材）の計画
- 「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の視点による具体的な手立て など



#### 検討③ 学習評価の工夫

- 観点別学習状況の評価や評価規準の設定
- 単元（題材）における評価計画
- 学習評価と指導改善の力量向上を目指した授業研究会 など



# 新学習指導要領に基づく学習状況等の把握 ～「学びの履歴」シートの活用と検証～

各教科の指導に当たっては、児童生徒一人一人が「何を学んできたのか（既習事項）」「何が身に付いているのか（習得状況）」を把握することが、一人一人に適切な指導をするための手掛かりになります。本センターでは、新学習指導要領に示された目標及び内容に即して、児童生徒一人一人の学習状況を把握するための様式例として「学びの履歴」シートを提案しています。

【学びの履歴】 (様式例)

小学部	学年	氏名	記入日	年	月	日
生活	1 段階	基本的な生活習慣	基本的な生活習慣	基本的な生活習慣		
		安全	安全	安全		
		日課・予定	日課・予定	日課・予定		
	2 段階	遊び	遊び	遊び		
		人との関わり	人との関わり	人との関わり		
		役割	役割	役割		
	3 段階	手伝い・仕事	手伝い・仕事	手伝い・仕事		
		家族の思い	家族の思い	家族の思い		
		まじり	まじり	まじり		
		社会の仕組みと公共施設	社会の仕組みと公共施設	社会の仕組みと公共施設		
生命・自然	生命・自然	生命・自然				
ものの仕組みと働き	ものの仕組みと働き	ものの仕組みと働き				
国語	知識・技能	言葉の特徴や使いかた	言葉の特徴や使いかた	言葉の特徴や使いかた		
		我が国の言語文化	我が国の言語文化	我が国の言語文化		
		思考力	思考力	思考力		
	判断力	聞くこと・話すこと	聞くこと・話すこと	聞くこと・話すこと		
		書くこと	書くこと	書くこと		
		表現力	表現力	表現力		
	読解力	読むこと	読むこと	読むこと		
		書くこと	書くこと	書くこと		
		表現力	表現力	表現力		
		読むこと	読むこと	読むこと		
算数	数概念の理解	具体物に関わること	数と10までの数の数えかた	数と計算		
		ものごとを対応させること	計算や表し方、構成	100までの数数の表し方		
		数えかたの基礎	ものの分類	算数の加法及び減法		
	数と計算	数えかたの基礎	身の回りにあるものの形	身の回りにあるものの形		
		ものごとの分類や分類・整理	測定	身の回りにある具体物の大きさ		
		測定	身の回りにある具体物の大きさ	角の大きさ		

## 「学びの履歴」シートとは

新学習指導要領の各教科の段階や内容を一覧にし、学習状況を記号（習得○や継続△など）で記入できるようにした様式例が、「学びの履歴」シートです。

各教科の段階や内容に沿って実態把握ができるとともに、指導目標の設定がしやすくなります。また、個別の指導計画と連動させた引継ぎの補足資料としても活用が期待されます。

## 主なメリット

- ☆ 既習事項や習得状況を整理できる。
- ☆ 個別の指導計画と連動させて、効果的な引継ぎができる。
- ☆ 指導計画を見直し、バランスのよい計画ができる。
- ☆ 段階や内容が明確になり、指導目標が設定しやすくなる。

## 「学びの履歴」シート(様式例)

## 「学びの履歴」シートの活用に取り組んだ先生方の感想・質問

各教科の段階や内容がつかめたことで、指導目標を設定する際に役立ちました。

取り扱っていない内容など、指導内容に偏りがあることに気がきました。

他の先生方と一緒に取り組み、学習指導要領に示された各教科の内容を理解する機会になりました。

もう少し詳細な把握が必要だと思いました。自分たちで使いやすい様式を作りたいと思います。

Q. 「習得状況」の判断が難しいです。何ををもって「習得」なのか、誰がどのように判断すればよいですか？

A. 各教科の各段階の内容は、各段階の目標を達成するために必要な内容で構成されています。これらの内容を学び、どの程度身に付いているか判断していくようになります。  
どこまでできたら「習得」とするかについては、原則、学級担任や指導の担当者などが判断することになります。妥当性・信頼性が高められるよう複数の教師で見取ったり、学校全体で学習評価についての組織的・計画的な取組を進めたりすることが重要です。

参考：「特別支援学校学習指導要領解説総則編」平成30年3月



研究協力校では、「学びの履歴」シートを活用して校内研究を行ったり、自校化したシートを作成したりするなど、学習状況の把握に努めています。

本センターでは、研究協力校での活用と検証を踏まえ、今後さらに活用しやすい様式を提案していきます。

# 令和元年度福島県特別支援教育センター教育研究 研究協力校7校の研究主題

推進  
モデル  
校

## あぶくま支援学校

＜研究主題＞「新学習指導要領を踏まえた「学びの履歴」シートを活用しての授業づくり」

## 石川支援学校

＜研究主題＞「知的障がいのある児童生徒における各教科や教科等を合わせた指導の充実を目指して」  
～新学習指導要領を踏まえ、自立と社会参加に向けて児童生徒が何を学び何が身に付いたのかが明確になる授業づくり～

## 大笹生支援学校

＜研究主題＞「一人一人の学びを支えるインクルーシブな学校づくり（3年次）」  
～大笹生支援学校モデルカリキュラムの開発と授業実践のまとめ～

## 西郷支援学校

＜研究主題＞「新学習指導要領を踏まえた授業づくり（2年次）」  
～単元展開案の活用～

## 猪苗代支援学校

＜研究主題＞「一人一人が自ら学び、集団の中で学び合う姿を目指して」  
～教科学習等における体験的な活動内容及び指導・支援の工夫と改善を通して～

## 富岡支援学校

＜研究主題＞「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり」  
～対話的な学びを育てるために～

## いわき支援学校

＜研究主題＞「三つの資質・能力を育む各教科の授業づくり（1年次）」  
～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善～

学び



## お知らせ

### ◇研究推進モデル校や地区協力校の公開授業研究会

公開授業研究会を通して、新学習指導要領を踏まえた授業づくりについて考えてみませんか。どうぞ参加ください。

- ☆あぶくま支援学校 令和元年10月29日（火）
- ☆石川支援学校 令和元年11月8日（金）
- ☆大笹生支援学校 令和元年12月13日（金）



### ◇特別支援教育センター研究発表会

教育研究の2年間の成果と課題について発表いたします。  
研究協力校7校によるポスター発表もあります。  
この機会にぜひご参加ください。

- 日時 令和元年12月6日（金）9時45分～15時45分
- 場所 福島県環境創造センター交流棟「コミュタン福島」
- 内容 研究発表（教育研究，調査研究，長期研究員発表）  
ポスター発表（教育研究，調査研究他）  
シンポジウム「学校における合理的配慮の提供の充実に向けて」

